

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成22年10月

(平成22年9月末調査)

平成22年10月20日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫**  
**経営相談室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【8月】	諏訪公共職業安定所管内	0.68倍	+0.28ポイント	
手形交換高【9月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,873枚	40枚	
	金 額	9,673百万円	+928百万円	
	うち不渡り	枚 数	0枚	2枚
	発生状況	金 額	0千円	1,550千円
電力使用量【9月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	48,200 MWh	+11.1%	
	高圧電力計	108,638 MWh	+10.9%	
	合 計	156,838 MWh	+10.9%	
車庫証明取扱件数【9月】(諏訪地方合計)		955件	11.8%	
新設住宅着工戸数【22年4月～8月】(諏訪管内)		430戸	19.2%	

本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

### 製造業

自動車関連の下請企業の受注は、円高やエコカー補助金終了の影響により先行きの懸念は強まっているものの、足元の受注は比較的安定していた。工作機械・専用機では、中国をはじめとするアジア向けの機種受注は好調であるが、国内向けは引き続き弱含みのまま推移している。デジタルカメラ関連の下請企業の受注は、クリスマス商戦向けで増加傾向である。

地域製造業の9月の生産水準は比較的堅調に推移したが、円高の影響によるコストダウン要請や新興国メーカーとの競合激化がきかれ始め、エコカー補助金終了後の動向を含め先行きについては不透明感が強まっている。

### 平成21年 工業統計調査結果(速報)について

長野県が平成22年9月28日に発表した、「平成21年 工業統計調査結果(速報)」における諏訪地方の主要数値は次のとおりです。平成20年のリーマン・ショックによる落ち込みから、各数値とも前年に比べ大幅に悪化しております。

諏訪地方合算	平成21年	平成20年	増減数	増減率
事業所数(所)	890	1,056	166	15.7%
従業者数(人)	25,908	29,628	3,720	12.6%
製造品出荷額等(百万円)	470,024	694,003	223,979	32.3%

(調査は、従業者4人以上の事業所が対象)

## 商業

諏訪地方の9月の天候は、前半は晴れた日が多く気温が高くなり残暑が厳しかったが、中旬以降は寒気の影響で気温が低くなった日があった。

残暑の影響により、例年動き始める秋物衣料や暖房用品の出足は遅く、また、サンマの不漁や果物、野菜の不作による食品価格の高止まりもきかれた。エコカー補助金が9月初旬に終了し、諏訪地域の車庫証明件数は5ヶ月振りに前年同月を下回った。

なお、10月からのたばこの大幅値上げを前にコンビニエンスストアなどでは、カートン(10箱)単位で購入する駆け込み需要がみられた。

## 観光業

9月の諏訪地域の観光地への入り込み客数は、シルバーウィークとして5連休があった昨年に比べると減少し、概ね例年並みの推移となった。

上諏訪温泉は、新作花火大会やファイヤーフェスティバルフィナーレへは昨年以上の入り込み客があったものの、月間の宿泊者数はシルバーウィーク効果があった昨年に比べると弱含み感がきかれる。また、各地区で小宮の御柱祭が行われていることから、日帰り宴会や結婚式が例年に比べ低調となっている。

## 建設業

市町村の9月の発注工事は、建築工事3件11百万円、土木工事・下水道工事53件354百万円、その他工事17件94百万円の合計73件460百万円で、前年同月比では件数は10件の減少、契約金額は187百万円の減少となった。県関係の9月の公共工事(地元業者受注分)は31件975百万円で、平成22年4月~9月の累計契約は95件2,898百万円と前年同期累計比では件数は+16件増加、契約金額も+865百万円の増加となった。

民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数は98戸で前年同月比では+11戸(+12.6%)と4ヶ月振りに増加に転じた。住宅着工等は基調としては引き続き低調であるが、住宅ローン金利の低下や住宅版エコポイントの効果などから一部に動きもきかれる。

## 雇用

諏訪地域の8月の有効求人倍率は、前年同月を+0.28ポイント上回り0.68倍と前年同月を5ヶ月連続で上回っているものの依然として低水準で推移している。また、全国の同倍率は0.54倍、長野県の同倍率は0.63倍となっている。

諏訪地域の8月の新規求人(全数)は1,215人で前年同月比+413人(+51.5%)の増加、新規求職者数は941人で前年同月比+101人(+12.0%)の増加となっている。産業別の前年同月比の新規求人数では、建設業以外のほとんどの産業で増加傾向である。

なお、8月の1件10人以上の人員整理は0件、事業主都合による雇用保険資格喪失者は66人で前年同月より63人減少、前月より25人減少した。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	デジタル家電向け等で受注は引き続き旺盛となっている。
コンデンサー	受注は弱含みで推移している。
プリンター	欧米向けの大型プリンターは堅調に推移し、アジア向けのサーマルプリンターの受注も引き続き増加基調である。
コンタクター・リレー	生産状況は安定している。

### 2. 輸送用機械

自動車	円高やエコカー補助金終了の影響により先行きの不透明感は強まっているものの、足元の受注は比較的安定していた。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は、ピーク時には及ばないものの比較的堅調に推移している。
船外機	新興国向けの低価格機種が主体となっており、売上高は弱含みのまま推移している。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	中国をはじめとするアジア向けの機種種の受注は好調であるが、国内向けは引き続き弱含みのまま推移している。
搬送用機械	大型機種種の引き合いは依然として弱いが、小型機種等で受注は増加している。
金型	新規受注は弱含みのまま推移している。
ダイカスト	引き続きガス器具部品の受注は堅調である。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの8月の生産台数は965万台で前月比+10.0%増加、前年同月比+6.3%増加となっている。8月の出荷台数は国内出荷89万台、海外出荷872万台で、出荷台数全体では前月比+11.2%増加、前年同月比0.6%減少となっている。(カメラ映像機器工業会)
レンズ	下請企業の受注は、クリスマス商戦向けで増加傾向である。 中国のレアアース問題から、研磨剤の価格が高騰している。

## 5. 織 維

ニット

初秋物の製品の動きは低調であり、冬物の生産水準も例年に比べ弱含んだ。

## 6. 食 品

寒天

猛暑の効果から引き続きスーパー向け、問屋向けとも荷動きは好調である。

味噌

残暑の影響から、小売の店頭での動きは幾分弱含んでいる。

## 7. 製 材

諏訪地方の8月の木造住宅着工戸数は82戸で、前年同月に比べ+2戸の増加となった。

## 8. 建 設

公共工事

9月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所10件、施設課関係工事2件、林道治山工事関係7件、農地整備課10件、その他土木工事2件の合計31件、契約金額975百万円となった。また、平成22年4月～9月の累計契約は95件2,898百万円と前年同期累計比では件数は+16件増加、契約金額も+865百万円の増加となった。市町村の9月の発注工事は、建築工事3件11百万円、土木工事・下水道工事53件354百万円、その他工事17件94百万円の合計73件460百万円で、前年同月比では件数は10件の減少、契約金額は187百万円の減少となった。

民間工事

諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数は98戸で前年同月比では+11戸(+12.6%)と4ヶ月振りに増加に転じた。前年同月比の利用関係別では、「持家」は+14戸増加の72戸、「貸家」は4戸減少の22戸、「分譲」は+1戸増加の4戸となった。住宅着工等は基調としては引き続き低調であるが、住宅ローン金利の低下や住宅版エコポイントの効果などから一部に動きもきかれる。また、長野県全体の8月の新設住宅着工戸数は1,018戸で、前年同月比+11.6%の増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が699戸で+22.8%増加、「貸家」が239戸で11.2%減少、「分譲」が80戸で+11.1%増加となった。

## 9. 商業

諏訪地方の9月の天候は、前半は晴れた日が多く気温が高くなり残暑が厳しかったが、中旬以降は寒気の影響で気温が低くなった日があった。

残暑の影響により、例年動き始める秋物衣料や暖房用品の出足は遅く、また、サンマの不漁や果物、野菜の不作による食品価格の高止まりもきかれた。エコカー補助金が9月初旬に終了し、諏訪地域の車庫証明件数は5ヶ月振りに前年同月を下回った。

なお、10月からのたばこの大幅値上げを前にコンビニエンスストアなどでは、カートン(10箱)単位で購入する駆け込み需要がみられた。

衣料	残暑の影響により秋物衣料の出足が悪く、気温の下がった後半に幾分動きがみられたものの、月間の売上高は前年を下回った店舗が多い。
食料品	小宮の山出しが各地で行われ、オードブル類などに動きがあった。猛暑の影響によるサンマの不漁や果物、野菜の不作から仕入価格は高止まりしたが、販売価格に転嫁できず収益性が低下した店舗がみられる。
家電製品	薄型TVの動きは引き続き堅調であり、パソコンも値下がりした夏モデルを中心に売れ行きを伸ばした。
自動車	諏訪地方の9月の車庫証明件数(軽自動車除く)は955台で前年同月比128台(11.8%)の減少とエコカー補助金終了の影響から5ヶ月振りに前年同月を下回った。
ホームセンター	例年は暖房用品が動き始める時期であるが、残暑の影響から今年は遅れている。

## 10. 観光

9月の諏訪地域の観光地への入り込み客数は、シルバーウィークとして5連休があった昨年に比べると減少し、概ね例年並みの推移となった。

各地区で小宮の御柱祭が行われていることから、日帰り宴会や結婚式が例年に比べ低調となっている。

上諏訪温泉	新作花火大会やファイヤーフェスティバルフィナーレへは昨年以上の入り込み客があった。一方、月間の宿泊者数はシルバーウィーク効果があった昨年に比べ減少し、例年並みとなった。
蓼科・白樺湖・車山	シルバーウィーク効果のあった昨年に比べ入り込み客数は減少し、ホテル旅館の宿泊者数も前年同月に比べ10%~20%程度減少した施設が多い。
下諏訪温泉	小宮の御柱祭の影響から日帰り宴会が低調であった。
諏訪大社	上社・下社合わせた9月の参拝者数は約59千人で、前年同月比約+9千人の増加となった。個人客、団体客ともに増加しており、引き続き御柱効果がみられる。

